

都市再生整備計画

ふじえだちゅうしん し が い ち かつせい か
藤枝中心市街地活性化地区(第2回変更)

しずおか ふじえだ し
静岡県 藤枝市

平成25年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	藤枝市	地区名	藤枝中心市街地活性化地区	面積	160 ha
計画期間	平成22年度	～	平成25年度	交付期間	平成22年度	～	平成25年度

目標
中心市街地の住環境、快適性を向上させ、「集い・すごし・にぎわうまち」と「質の高い暮らし」の実現を図る。
①生活環境基盤の整備 ②うるおいと活力あふれるまちづくり ③火災や地震などの災害に強いまちづくり

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
藤枝市は、旧東海道五十三次の宿場町であった藤枝、岡部地区と、JR東海道線藤枝駅周辺の当地区と、三つの中心市街地がある。藤枝駅を中心とする地区は、駅の南北5地区における土地区画整理事業の実施により、藤枝市の中心市街地として順調に発展してきたが、近年の車社会の進展、郊外への大規模店舗の出店、藤枝駅東西での新駅の設置等により駅周辺中心市街地の空洞化が深刻となっていた。
藤枝市では平成17年度から第1期まちづくり交付金において、駅周辺の整備を行い居住環境については十分な成果が現れ、さらに平成20年3月に認定された「藤枝市中心市街地活性化基本計画」において、交流拠点となる商業施設や公共公益施設の整備など中心市街地活性化基本法に基づき、各種事業を展開し、中心市街地の活性化を図っている。また、平成25年3月認定の「第2期中心市街地活性化基本計画(平成25度～平成29年度)」においては、市街地再開発事業や道路移動円滑化事業等を展開し、生活支援機能の充足による街なか居住の推進や、回遊性の創出を更なる活性を図る。
しかし、人口増の大きな要因でもある青木土地区画整理事業の完了も近づき、今後の住宅供給は民間市場に依るところが大きくなる。一方、民間では、サブプライム問題以降の投資環境の悪化や景気減退による個人消費の落ち込みなどにより住宅市場の冷え込みは当面続くことが想定される。
このような状況の中、これまでのまちづくりの成果を地区内全域に反映させるとともに、超高齢化社会に対応し、交通利便の高い駅周辺で生活が完結できる「コンパクトシティ」を実現するため、引き続き中心市街地における安心で安全な居住環境を確保し、それに必要な公共公益施設を戦略的に整備するなど、中心市街地のさらなる魅力づくりが求められる。
課題
都市基盤の整備・充実を進め、居住環境の質を高めると共に、にぎわいの場を創出し交流人口の増加を図る必要がある。 ・街なか居住を促進するため、都市基盤を整備し安心・安全で快適な居住環境の向上を図る。 ・来街者が滞在し、回遊したくなるまちづくりを推進する。 ・中心市街地の小規模な商店等を共同化することにより商店街の再生を図り、まちのにぎわいを創出する。
将来ビジョン(中長期)
■第4次藤枝市総合計画 将来都市像『ひと・まち・自然が美しく夢と活力あふれる文化の都市』→ ①都市の活性化のため、土地の有効利用を推進 ②快適で安全な生活環境づくりのための土地利用を推進 ■藤枝市都市計画マスタープラン ①“にぎわい”を創り楽しむまち(活力)②“あんしん”して暮らせるまち(快適)③“うるおい”を愛し親しむまち(共生) ■藤枝市中心市街地活性化基本計画(平成20年度～平成24年度) 目標①「人々が集い、快適・満足にはつらつとすごせるまち」目標②「結びつきに支えられ、健やかに暮らせるまち」 ■第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画(平成25年度～平成29年度) 目標①「人々が活発に活動・交流し、にぎわうまち」目標②「志太榛原地域の核となるまち」目標③「安全・安心に生活が完結し、持続するまち」

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
未利用地改善率	%	未利用地面積の改善率	・未利用地の活用により、地域活力の向上につなげる	0	H21	50	H25
公共施設利用者数	人	計画区域内における公共施設利用者数	・耐震化を図り、利用者が安心して利用できる環境をつくる ・施設利用者を増加させ、市街地のにぎわいを促進する	974,000	H21	975,500	H25
歩行者通行量(休日)	人	計画区域内における一日あたりの歩行者通行量(4箇所)	・歩行者の回遊を増やすことで、にぎわいを創出する	4,811	H20	8,400	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
①生活環境基盤の整備 ・地区内の交通環境を改善する。 ・子育て、高齢者支援機能を整備、誘導する。 ・市民サービス向上機能を整備、誘導する。 ②うるおいと活力あふれるまちづくり ・拠点公園を整備し、地区内の交流を促進する。 ・市民体育館の耐震化を図り、多くの施設利用を促進する。 ・魅力あるイベントを実施し、来街者の滞留、回遊を促進する。 ③火災や地震などの災害に強いまちづくり ・地区内の狭隘道路を改善する。 ・災害に備えた地区防災拠点となる公園を整備する。 ・市民体育館の耐震工事を実施し、防災施設としての機能を確保する。		■基幹事業 □道路（南新屋地内道路新設事業） □公園（青木中央公園整備事業） ■関連事業 □藤枝駅北口・日の出町地区市街地再開発事業 □藤枝駅前一丁目6街区市街地再開発事業 □藤枝駅南口西地区ABC街区開発事業
		■基幹事業 □公園（青木中央公園整備事業） □地域生活基盤施設（市民体育館耐震化事業） ■提案事業 □まちづくり活動推進事業（て～しゃばストリート開催事業、光り輝くイルミネーション事業）
		■基幹事業 □道路（南新屋地内道路新設事業） □公園（青木中央公園整備事業） □地域生活基盤施設（市民体育館耐震化事業）
その他		

交付対象事業費	414	交付限度額	186.3	国費率	0.45
---------	-----	-------	-------	-----	------

基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		南新屋地内	藤枝市	直	222.3m	22	24	22	24	42	42	42		42
公園		青木中央公園	藤枝市	直	1.38ha	22	25	22	25	304	304	304		304
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		—			—									
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設(地域防災施設)		市民体育館耐震化事業	藤枝市	直	—	22	24	22	24	44	44	44		44
高質空間形成施設		—			—									
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型 密集住宅市街地整備型 まちなか居住再生型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										390	390	390	0	390

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業														
事業活用調 査	事業効果分析調査	—	藤枝市	直	—	25	25	25	25	3	3	3		3
		—			—									
まちづくり活 動推進事業	て～しゃばストリート開催事業	—	柳まちづくり藤枝・実行委員会	間	—	21	24	22	24		21	21		21
		—			—									
合計										3	24	24	0	24

合計(A+B)

414

[illegible]

都市再生整備計画の区域

藤枝中心市街地活性化地区(静岡県藤枝市)	面積	160 ha	区域	青木1・2・3丁目、南新屋、駅前1・2・3丁目、前島1・2・3丁目
----------------------	----	--------	----	-----------------------------------

